米沢市報道資料

令和6年度「米沢市協働提案制度補助金」
公開プレゼンテーションを開催します

令和6年5月7日
地域振興課地域振興担当
担当　南波・宍戸
電話　22-5111
（内線 2804）

本市における市民と行政の協働に関する基本原則を定めた「米沢市協働推進条例」に基づく、令和6年度米沢市協働提案制度補助金の公開プレゼンテーションを下記のとおり開催いたします。

記

1 日　　時　公開プレゼンテーション
令和6年5月16日(木)18:00～19:30(予定)
※公開プレゼンテーション終了後、審査会を行います。審査会については非公開となっておりますので、公開プレゼンテーション終了後は御退室願います。

2 場　　所　米沢市役所　3階　庁議室・303会議室

3 提案内容　別紙参照

4 補助金制度概要
この補助金は、主に公益的な活動を行う団体が、米沢市内において、米沢市民を対象とする公益的な事業を実施しようとする場合に、市がその実施を支援することを目的として交付するものです。
採択事業について、市は提案者との協議に基づき、補助金の交付以外にも事業の後方支援を行います。

・補助金制度創設:平成 26 年度
・補助金額:50万円(上限)　※予算総額350万円
・補助率:補助対象経費の10／10
・審査:米沢市協働推進市民会議(米沢市協働推進条例に基づき設置)
・事業の流れ:　①提案書提出　→②提案者による公開プレゼンテーション
→③協働推進市民会議による審査　→④審査結果を市長へ答申
→⑤市長から提案者に結果通知　→⑥採択事業について事業実施
・参考:米沢市ホームページ　米沢　協働提案　で検索

令和6年度　米沢市協働提案制度補助金　提案内容一覧

No.	提案者名 代表者役職/氏名	提案の名称 継続・新規	提案概略	提案の形態 行政課題の名称	関係課	総事業費(円) 補助希望額(円)
1	米沢御堀端史蹟保存会 会長 関原　謙一	上杉衆　これぞ芋煮会 継続(2年目)	この芋煮会は、参加者が自分で竈に火をくべ、自分で料理する体験型芋煮会です。 米沢藩の時代雰囲気を醸し出す会場設営と、「さすが米沢牛仕立て」といわれる、タップリ米沢牛を使った芋煮鍋を提供します。 人口減少は大きな問題であり、観光客増で活性化を図る自治体は多い。山形市の芋煮会は全国的に知られるようになり、市民の楽しみの他に観光客の誘致にも貢献していると思われる。 が、山形市のように主催者が調理して提供するのでは情緒がないので、自ら調理する体験型大芋煮会を企画し、米沢の芋煮を味わいたいとする訪問者を増やしたい。	市民発案型 －	観光課	800,000 500,000
2	特定非営利活動法人　雲井龍雄顕彰会 理事長 屋代　久	幕末米沢藩士,憂国の士「雲井龍雄」の顕彰と広報活動 新規	雲井龍雄の偉業、足跡を表した冊子を制作し、同時代の幕末米沢の歴史を顕彰しながら、市内の小、中、高校に配布し、地域の歴史、文化の保護を活性化しながら人材の育成と定着を市民と学生、生徒達に伝えてゆきたいと考えています。 雲井龍雄の菩提寺は林泉寺に近い「常安寺」にあります。境内には大正時代の米沢市民有志の方々により建立された墓と、昨年我々「雲井龍雄顕彰会」が建立した銅像が山門に建っています。訪れる観光客の方も多く見られます。残念なことに境内の案内板が未整備になっており、新たに看板を設置したいと考えています。この資源を活用することで観光振興の一助になれば期待しています。 詩人としての雲井龍雄の漢詩は今なお全国の詩吟愛好家の方々に吟じられています。これらの方々にも雲井龍雄と米沢を顕彰した冊子を通して情報発信し、芸術文化の振興と合わせて同人コミュニティ形成と参加促進に寄与できると考えています。	行政課題型 5.市民と学生の交流推進 13..地域資源を活用した観光の振興 20.芸術文化の振興－	社会教育文化課 観光課	1,000,000 500,000
3	Zero Waste Walk 代表 青山 浩子	気候変動・環境問題を一緒に考え解決のために広がるゴミ拾いコミュニティ事業 新規	Zero Waste Walkに参加される方との交流で、米沢市民の多くは、気候変動・環境問題への理解 が形成されていないと感じる。しかし、気候変動という言葉は今や、気候危機→気候破壊と言葉 を変え、人が安全に暮らせない地球へと刻一刻と差し迫っている。そこに危機感を抱き、まずは 知ってもらい理解を深め意識の変革を目的とし、ゴミ拾い活動やイベント、チャリティーグッズ販売 などを通じて市民の方々と一緒に考え、環境を良くしエシカル暮らしにシフトしていくことを目指す。	行政課題型 6..環境問題等の解決のための連携の推進	環境課	700,000 500,000
4	特定非営利活動法人　から・ころセンター 代表理事 伊藤　正俊	子どもの居場所～生きる力・生きていく心を育む場所～を米沢に 新規	ここ数年全国的に小学生・中学生の不登校や行きしぶりの児童・生徒が増加傾向にあり、令和4年の統計では29万9千人で過去最多と発表があった。当市においても身近なところで不登校や経済的貧困、親の精神的不安定、ヤングケアラー等の課題を抱え、大切な成長期間を孤独に過ごしているという声も聴くことも多くなってきている。 この事業では家庭や学校だけでは補いきれない「体験活動」や「安心して過ごせる環境」を地域でカバーする『子どもの居場所』の充実を目指す。	行政課題型 8.子育てに寄り添うまちづくりの推進	こども家庭課 学校教育課	543,500 500,000
5	猫のひなたぼっこ 代表 後藤　学	不幸な命を増やさない，猫と人が共生できる地域創生事業 新規	米沢市内の野良猫，捨て猫はとても多い。猫の繁殖力はとても強く，計算上は，1頭のメス猫が1年で20頭、2年で80頭以上に殖えることが可能である。野良猫の寿命は3，4年と言われているが，それでも多くの野良猫によって，糞害に困っている人，近所でたくさん増えて困っている人がいる。一方，単に餌だけやって野良猫の繁殖につながっている事例も多い。また，最近では猫の虐待や，飼い主がいなくなった多頭飼育崩壊で行き場のない猫に困るという事案も多い。 そのような中で，米沢市の場合は，公的な補助金がないため，自分で費用を負担して避妊や去勢手術を行い，自宅の内猫として保護して飼育したり，外猫として世話をしたりしている人が多いのが現状である。 これらの現状に対して，個人で取り組んできた有志で，上記のような課題がある市民に対して，アドバイスを行ったり，避妊・去勢手術の補助金を含めたサポートを行ったり，望まれない命を増やさない，繁殖を低減していく取組を行っていきたい。	市民発案型 －	生活安全課	500,000 500,000
6	鷺城史跡保存会 会長 佐藤　俊弘	鷺城および関連史跡の保存活用 継続(3年目)	鷺城とその周辺には戦国時代中期の火縄銃が主戦術になる前の伊達時代の山城の典型的遺構や独特な防御遺構が、ほぼ近代の改変を受けずに残っており、その大きさは米沢あるいは置賜、山形を代表する大規模なものであります。この史跡を後世に保存伝承していくことが、我々の責務と考えております。 1. 遺構を毀損しない見学道を整備し見学や整備が安全にできるようにする。 2. 有識者を招いて山城の価値を見直す講演会、見学会を行ない、鷺城の認識を広める。 3. 山城遺構の精密地形調査、発掘調査や専門家の検討会を行ない遺構の価値を明確にする。(長期課題) 4. 老化した山林の倒木枯損木の発生に対応する。 5. 年代を推測できる板碑に亀裂が発生し一部が欠落しているので、亀裂補修と覆屋根による保護を行う。 令和4年度に補助を受けて見学や保全作業のための周回道開拓、トイレ、駐車場を整備しました。令和5年度はリーフレットや見学路図の作成、見学案内板の設置、地点名板、誘導板の作成を行いました。	行政課題型 13.地域資源を活用した観光の振興 21.文化財の保存と活用	観光課 社会教育文化課	655,410 500,000
7	スノーラーメン協会 会長 横山　昭子	「スノーラーメン」 ～ 米沢の冬と米沢ラーメンの魅力を世界に発信するための、新ブランド開発とプロモーション活動 ～ 継続(3年目)	＜米沢ラーメンの新ブランド スノーラーメンの魅力を世界に向けてプロモーションすることで米沢市へのインバウンド観光客の増加に繋げる。＞ 1 外国人をターゲットとして新たなラーメンを開発することによって、米沢市にすでにある米沢ラーメンの魅力と、新しい視点で作り上げるスノーラーメンをリミックス・コラボレーションして世界に発信し、インバウンド観光客増加に繋げる。 2 スノーラーメンと米沢の雪を活用したインバウンド向けツアーの開発を行い、食と観光を組み合わせた新しい観光手法を開発し、米沢の冬のインバウンド旅行客の直接的増加を目指す。 3 米沢市で生産された農作物等を使って商品・レシピを開発し、米沢市の食の魅力を世界に向けて発信することで米沢の食文化と生産者の皆様の発展に繋げる。 4 米沢市の企業・飲食店・学生・市民・米沢市に在住、滞在する外国人・市(行政)が協力して米沢の新たな名物を作り上げることで、地域の絆を深めるとともに、異文化との交流を促す。	行政課題型 13.地域資源を活用した観光の振興	観光課 農政課	500,000 500,000
合計						4,698,910 3,500,000